

研究に関する情報公開

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年1月 福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤浩

【研究課題名】

Valsalva 負荷（腹圧負荷）による馬尾の動きと脊柱管狭窄症との関連性についての研究

【研究期間】

2022年2月1日 ～ 2026年3月31日

【研究の意義・目的】

腰部脊柱管狭窄症は、高齢者によく見られる脊椎疾患で、臀部や下肢の痛み、疲労感、腰痛などの様々な症状を引き起こします。高齢化社会の到来により、有病率は増加しています。日本で行われた調査によると、40歳から79歳の日本人において、有病率は5.7%と推定され、患者数は3,650,000人と推定されており、頻度の高い疾患です。

腹圧負荷（お腹に力を入れていきむ動作のこと、Valsalva 法とも言う）を伴うシネMRI の読影を行っていたところ、腰椎において馬尾（脊髓の先端のハタキのような構造の神経）が動く様子が確認できました。この患者さんの他の画像を確認すると脊柱管狭窄症が見られました。

腰部脊柱管狭窄症の患者さんの中には除圧術を行っても症状が改善しない患者さんがいます。原因はよくわかっていませんが、馬尾の変性が強いことが原因と考えられています。この“腹圧で馬尾が動く”という所見は馬尾変性の原因になり得ると考えています。本所見と痛みの程度、馬尾の変性、治療効果との関連性を正確に検討するためには、前向き観察研究（所見の有無をチェックした後に患者さんを長期間観察し、将来的に腰部脊柱管狭窄症による症状が増悪するか等の検討）が必要です。この前向き観察研究を行う前に、すでに撮影された過去画像を検討し、所見の頻度や腰部脊柱管狭窄症との関連性を検討することは重要であると考えます。

本研究の目的は腹圧負荷による馬尾運動の変化と腰部脊柱管狭窄症の関連性を検討することです。

【研究の対象となる方】

2014年1月から2021年12月までに産婦人科および泌尿器科などを受診された患者さんで腹圧負荷を伴うシネMRI（同一断面の連続画像撮像法）を撮像された患者さんが対象になります。具体的には“膀胱脱”、“子宮脱”、“前立腺癌術後”などの評価を目的として撮像されたMRIを受けた患者さんが対象になります。

【研究の方法】

後ろ向きの研究になるため、新たなデータ取得はありません。既に撮像されたMRIの解析を行います。馬尾運動の評価は医師による視覚的評価と画像評価ソフトによる定量的評価を行います。馬尾運動の頻度、馬尾運動と腰部脊柱管狭窄症の関連性について検討します。

【研究組織】

	(所属)	(職)	(氏名)
研究責任者	放射線医学講座	教授	伊藤 浩
研究分担者	放射線医学講座	病院助手	山國 遼
研究分担者	整形外科講座	教授	大谷 晃司
研究分担者	放射線医学講座	准教授	石井士朗
研究分担者	放射線医学講座	助教	関野 啓史
研究分担者	先端臨床研究センター	助教	菅原茂耕
研究分担者	放射線医学講座	助手	末永 博紀
研究分担者	放射線医学講座	病院助手	箱崎 元晴
研究分担者	附属病院放射線部	技師長	阿部 郁明
研究分担者	附属病院放射線部	専門放射線技師	清野 真也
研究分担者	附属病院放射線部	主任放射線技師	石川 寛延

【他の機関等への試料等の提供について】

なし。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 山國遼

電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789

E-mail:rad@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当 山國遼

電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789

E-mail:rad@fmu.ac.jp